

団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、地域医療の担い手であるかかりつけ医の役割が大きく変わろうとしている。求められるのは、多職種の連携体制を作り、患者のニーズに応じた医療・介護を提供するチームを率いる「地域のコンダクター」としての役割だ。新時代のかかりつけ医像と、それを先取りした現場の取り組みを紹介する。（加納 亜子、小坂橋 律子、吉良 伸一郎）



複数医師体制で  
幅広い疾患に対応



子育て・介護支援などで  
地域住民の生活をサポート